

平成29年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	梯川手づくり学習館	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

梯川の治水・環境情報、また改修事業の効果を広く地域住民に向けて発信する場として平成18年にオープンした「梯川手づくり学習館」を拠点に、市民団体「明日の小松をデザインする会」が主導する活動への支援を行う。
学習館は同会の提言をもとに行政と共同で企画した施設であり、会の活動と合わせ梯川を核としたまちづくりの一端を担っている。

2. 事業実施体制

主 催：明日の小松をデザインする会、小松商工会議所青年部、
国土交通省金沢河川国道事務所
協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

- ◆夏休み体験教室
日 時：平成29年7月30日(日) 8:00～11:30
内 容：梯川の学習、ルアー製作・つり体験
参加者：6組14名(小松市内の小学生と保護者)
- ◆常設展示・学習
 - ・梯川改修の歴史と効果
 - ・前川排水機場の仕組みと役割
 - ・梯川の自然(植生、魚類、鳥類)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

「梯川学習館」は河川改修により生まれ変わる「梯川」について、河川改修の効果や梯川の自然環境を次代の子供たちに教え、伝えるため、小松市民の強い要望を受け平成18年に開設された。企画・運営について、小松市民はもとより石川県民に広くワークショップへの参加を募り、利用者の「手づくり」の運営で取り組みがなされ、開設の意義は現在も継承されている。
梯川は平成25年7月29日洪水で観測史上最高水位を記録したが、それまでの改修の効果が発揮され、学習館での知識を通じて改修の早期完成を望む小松市民の声も一層、大きくなった。今後も、学習館の利用を通じた河川愛護思想、防災意識の次世代への伝承の意義は高い。



梯川の学習



つり体験